

平成19年榛原総合病院 産科オープン病院モデル 事業報告(資料)

茂庭将彦

図1 榛原総合病院の医療圏

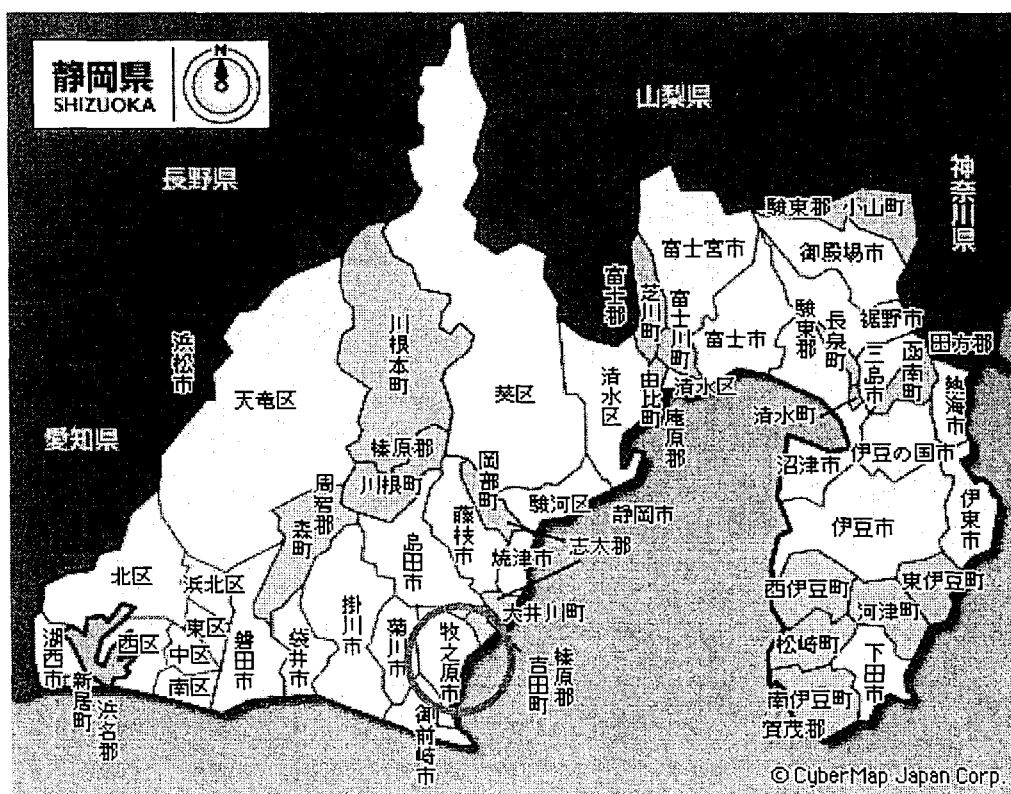


図2 地域出生数の推移

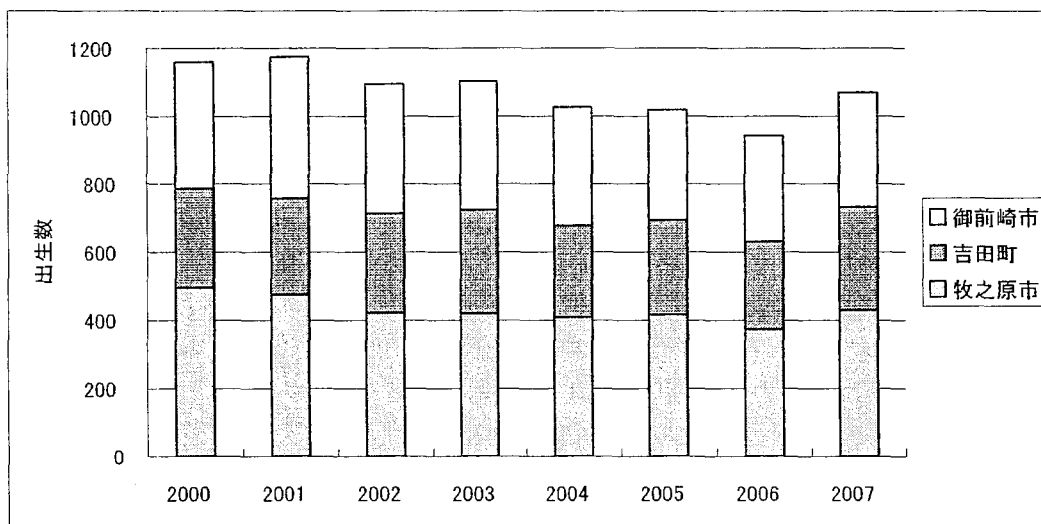


図2 地域内施設における分娩数の推移

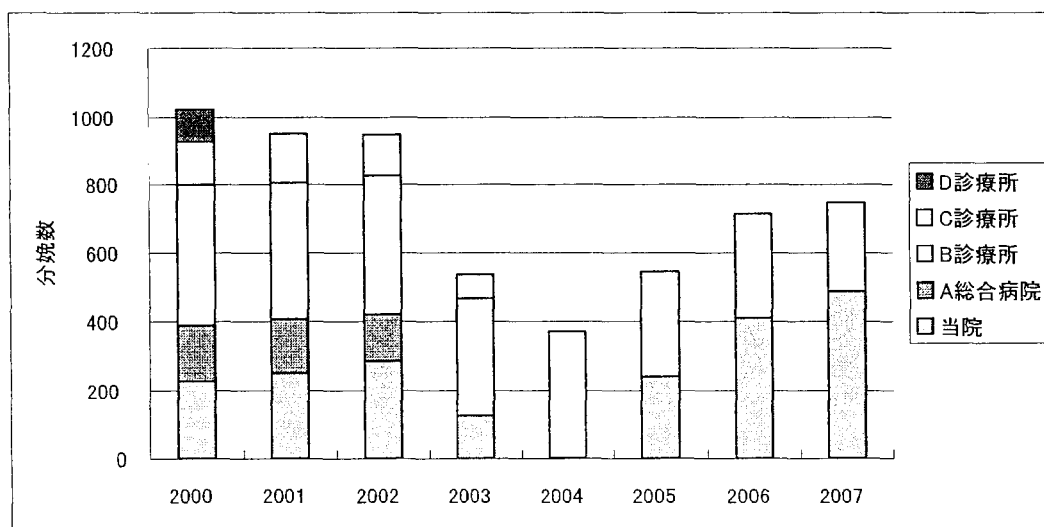


表1 地域内分娩施設数の変遷

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
病院	2	2	2	1	0	1	1	1	1
診療所	3	2	2	2	1	1	1	1	0

図4 当院における月別分娩数の推移

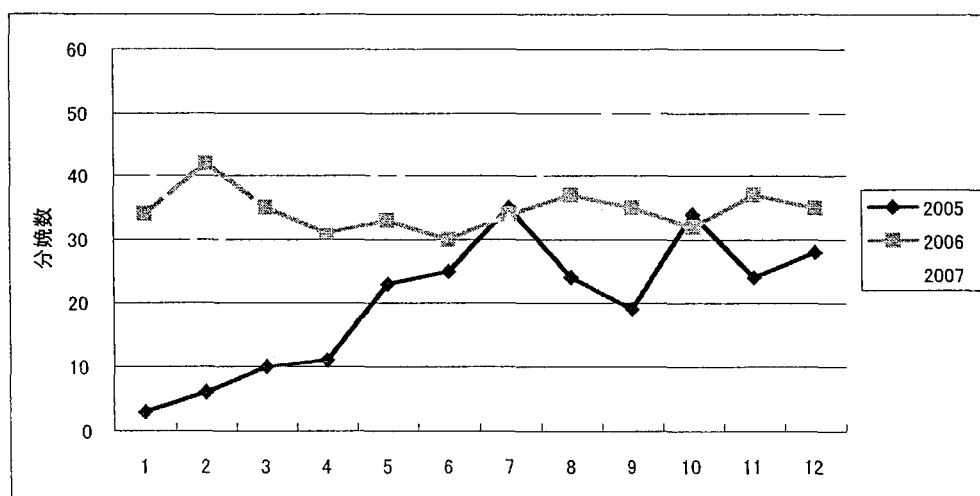


表2 母体搬送症例

症例	搬送日	年齢	G	P	入院時 診 断	前医	入院 週数	搬送 週数	搬送理由
1	06.11	30	0	0	前置胎盤 IUGR	なし	26.0	26.0	胎胞膨隆
2	07.3	25	0	0	切迫早産 頸管無力症	なし	23.1	23.2	胎胞膨隆
3	07.6	38	1	0	PIH IUGR	あり	28.3	29.2	臍帯血流途絶 胎児成長不良
4	07.8	34	0	0	PIH IUGR	なし	23.4	29.3	臍帯血流逆流 胎児成長停止
5	07.10	27	0	0	DD twin 切迫早産	なし	29.6	33.6	PROM

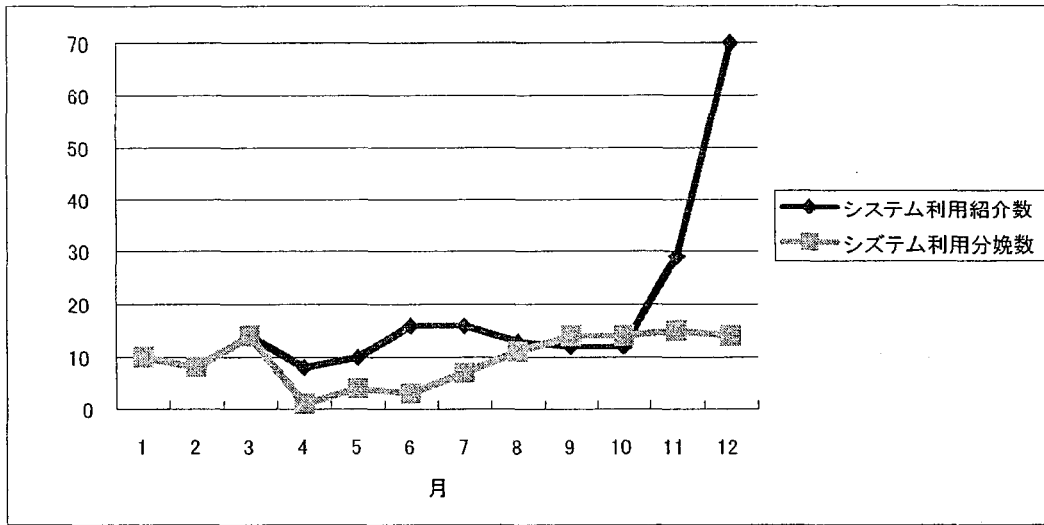
2006.11~2007.10

表3 こども病院新生児科立会い分娩症例

症例	搬送日	age	G	P	入院時 診 断	前医	入院 週数	帝切 週数	搬送理由
1	06.11	26	2	1	PROM 骨盤位	なし	32.0	32.0	子宮内感染症
2	06.11	30	1	1	前置胎盤 切迫早産	なし	22.0	30.6	収縮コントロール不能 子宮内感染症
3	07.1	25	0	0	DD twin 切迫早産	なし	24.0	29.6	収縮コントロール不能 子宮内感染症
4	07.1	35	0	0	MD twin PIH	里帰	19.2	30.6	収縮コントロール不能 血圧上昇
5	07.2	35	1	1	切迫早産 骨盤位	なし	30.4	32.3	PROM

2006.11~2007.10

図4 システム利用紹介数と分娩数
(平成19年)



地域で 安全・安心なお産を 産科オープンシステム



「普段の妊婦健診は、近くの診療所（病院）で
お産は、いざというときの設備・体制が整った病院で」

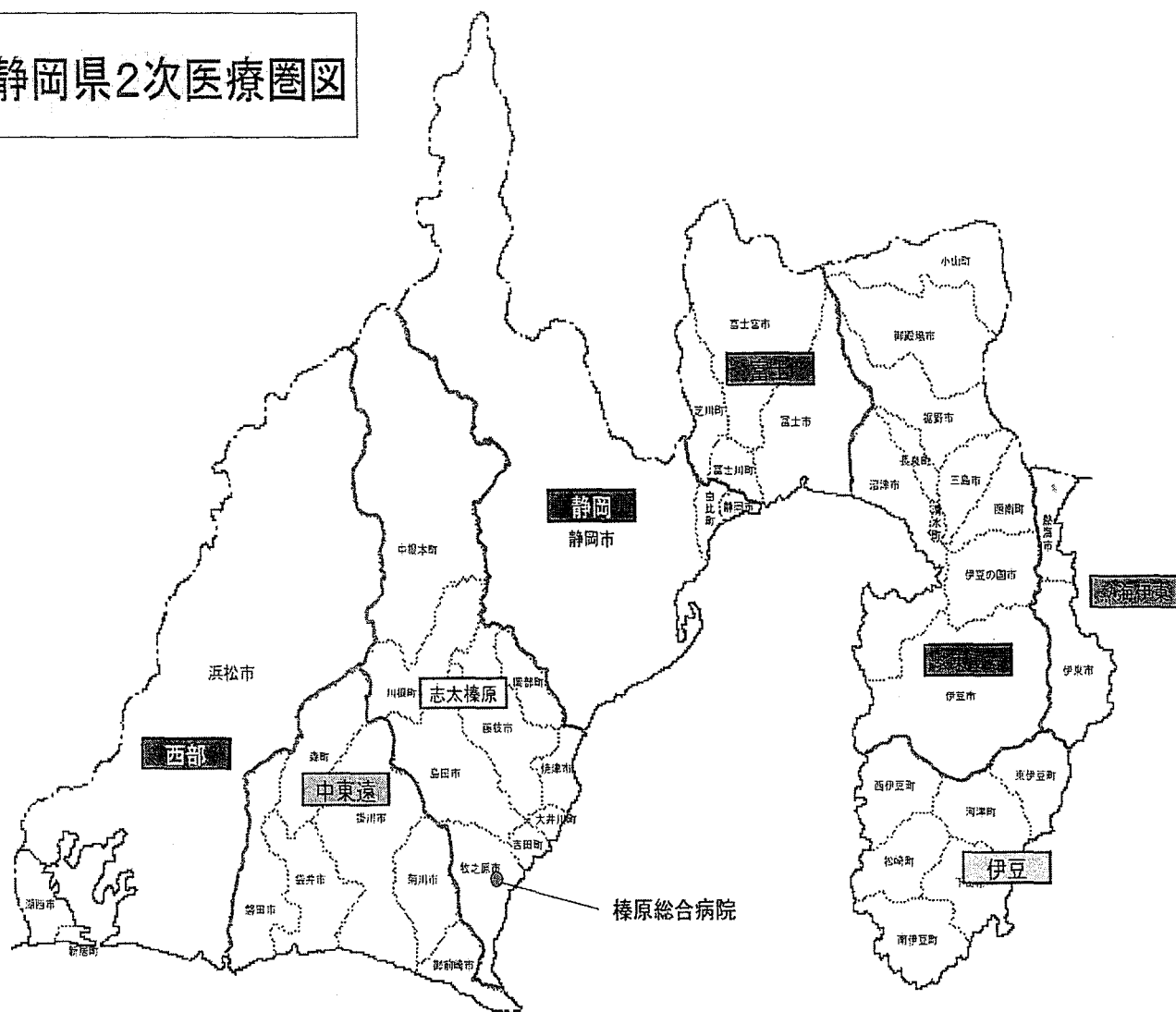
当院と診療所（病院）の医師が連携して妊婦さんの診療を行うシステムにより、妊娠からお産まで“安全で安心”な医療を提供します。

システムのご利用を希望される場合は、診療所（病院）の医師にご相談ください。




榛原総合病院

静岡県2次医療圏図



榛原総合病院
産科オープンシステムのご案内

 榛原総合病院

〒421-0493
静岡県牧之原市緑丘2887番地1
TEL 0548-22-1121 (他)
FAX 0548-22-6363
0548-22-9324 (時間外)
URL <http://www.hospital.harabara-shizuoka.jp/>

梅島運病室
TEL 0548-22-7301 (産婦)
FAX 0546-22-7360 (産婦)



 榛原総合病院

榛原総合病院
産科オープンシステムのご案内

目次

榛原総合病院産科オープンシステム実施要領	2
榛原総合病院産科オープンシステムご利用の手引	4
産科オープンシステム登録医へのお誘い	7
妊娠リスク自己評価表 (妊娠20週まで)	8
妊娠リスク自己評価表 (妊娠20週～36週まで)	10
妊娠リスク自己評価表の基礎表 (共通)	11

榛原総合病院産科オープンシステム実施要領

(目的)

第1条 この要領は、産科医師の減少等産科領域が変化している状況を踏まえ、影響所と榛原総合病院(以下「病院」という。)及び産科領域が種小傾向にある医療機関と病院の連携を策し、地域の医師の負担軽減と妊婦にとって安全で安心な産科医療体制の整備を図ることを目的とする。

(登録医及び登録機関)

第2条 地域の医師会に会員として登録されている産科医師は、個人が病院へ所定の手続きを経て登録することにより登録医となることができる。
2 他の医療機関の産科医師は、その所属する医療機関の代表者が所定の手続きを経て病院へ登録機関の届け出をすることにより登録機関となることができる。
3 登録医の契約については届出登記簿の申込日から、その属する年度の3月31日までとし、双方より前に申し出がない場合は1年間の自動更新とする。ただし、登録医が死亡あるいは医師資格停止時については、その日を以て契約も自動的に停止する。

(実施方法)

第3条 妊婦健診を行なう施設と分娩を行なう病院の機能分担をあらかじめ定めたオープンシステムとする。
2 原則として正常に経過している妊婦を対象とし、妊婦がハイリスクと診断された時点で、早期から病院による管理に移行する。
3 登録医に受診した妊婦が病院での分娩を希望する場合は、妊娠第20週までに分娩予約をとるものとする。
4 病院に直接受診した妊婦は、分娩予約をした後、希望する機関に紹介する。
5 分娩予約が済んだ妊婦は、妊娠第34週に至るまで登録医の下で妊婦健診及び検査を実施する。
6 病院では、妊娠第35週から分娩までを管理する。
7 オープンシステムによる妊婦の分娩立会い時には、別に定めた報酬を支払うものとする。
8 紹介妊婦のハイリスク分娩にかかる入院中には、登録医と主治医の共同指導を実施する。

(診療責任)

第4条 紹介により入院中の患者の診療及び管理は、病院の責任において行うものとする。
2 具体的な診療、検査の指示は主治医が権限を有するものとする。

榛原総合病院産科オープンシステムご利用の手引

【登録医】

産科オープンシステムをご利用いただくためには、「登録医」となっていく必要があります。登録に際しては、別紙「産科オープンシステム登録(機関)届出書」に記載のうえ病診連携書までご提出ください。

【対象妊婦】

正常に経過している妊婦の方を原則といたします。ハイリスクと診断された時点でオープンシステムの対象外となります。(下記「ハイリスク妊婦」をご参照ください。)

【ハイリスク妊婦】

ハイリスクと診断された場合には、早期からの母体管理が必要です。早急に情報提供のうえ当院へ受診をお勧めください。
当院は、ハイリスク分娩管理加算の施設基準の認定を受けておりますので、ハイリスク妊婦の分娩に伴う入院中に当院主治医との共同診療を実施することで「ハイリスク妊産婦共同管理料(1)500点」が算定できるため、施設基準の申請をされている、又は、される場合には当院までご連絡ください。

【受診申込みとその後の診療】

産科オープンシステムでの分娩をご希望される妊婦の方がいらっしゃいましたら、次の手順をお願いします。
1 妊娠第20週までに「産科オープンシステム受診申込書」を病診連携書へFAX(0548-22-7380)でお送りください。
2 折り返し、申込書受信の報告をFAXにて迅速いたします。当院では予約日を限定していませんので、ご都合の良い日に受診していただければ結構です。
3 受診日に分娩予約申込書を記入していただきますので印鑑をご持参くださるようお願いください。
4 当院での分娩予約が完了しましたら妊娠第34週までの健診をお願いします。
5 妊娠第35週を経過した妊婦の管理と分娩は当院で行ないます。
6 妊婦の状況に応じ、分娩に立会うことも可能です。
分娩に立会いの際には、規定の料金をお支払いします。

【ハイリスク妊産婦共同管理料】

ハイリスク妊産婦共同加算の申請をされている医療機関で、ハイリスク妊婦として診断された方の入院中(分娩を伴う場合に限ります。)に共同診療を希望される場合は、下記の手順をお願いします。

1 共同診療の手順

① 病診連携書に電話し、病院又は病院主治医と診療日時の調整をお願いします。

(医療紛争問題の解決)

第5条 登録医、主治医の医療行為により医療過誤が生じた場合は、関係者で協議するものとする。
2 損害賠償、医療裁判に進展した場合は、それぞれが加入する損害賠償保険によって処理するものとする。

(その他)

第6条 この要領に定めのない事項又は改訂についてはオープン病院運営協議会において協議するものとする。

附 則

この要領は、平成18年11月1日から施行する。

- ② 病診連携書に立ち寄り、来院簿に記名してください。
③ 白衣及び名札を着用し、病棟のスタッフステーションへお立ち寄りください。
④ 病院主治医との共同診療をお願いします。
⑤ 共同診療後、病棟で「開放型病院共同指導記録書」へ記載してください。
⑥ 病院主治医の署名をもらい「記録書」(登録医用)を受領してください。
⑦ 病診連携書へ白衣及び名札の返却をお願いします。
⑧ 帰院後、診療簿に受領した記録書を貼付してください。

2 開放型病院共同指導記録書

入院中の共同指導、遠隔指導を実施ごとに必ず記載して下さい。また、必要に応じて連絡事項欄への記載をお願いします。最後に病院主治医が署名します。

【分娩立会い報酬】

1 分娩立会いを実施した場合は、報酬としてお支払いします。

① 報酬の構成

- ア 正常分娩は分娩料の30%
イ 帝王切開は手術点数料の30%

2 報酬の支払方法

報酬は「開放型病院共同指導記録書」に記載された実施内容を基盤の上、月単位で指定口座にお振込みします。

【業務災害及び医療紛争】

共同指導に際して起きた業務災害及び医療紛争については以下のとおりとなります。

- 1 共同指導中の登録医の業務災害については、当院における非常勤職員公務災害の規定に準じて取扱います。
2 医療過誤が発生した場合は、登録医及び主治医が協議の上で解決していただき、損害賠償や医療裁判に進展した場合には、それぞれが加入している損害賠償保険を適用し処理することとします。

【その他】

登録医は、原則として院内の施設利用及び学習活動に積極的に参加が可能となります。

- 1 病院図書室 ご利用できる時間は平日の8:30~17:00です。
2 研修会等 院内での産科研究会、講演会等に自由に参加できます。
※ 施設利用、研修会参加にあたり、あらかじめ病診連携書までご連絡ください。
コピー代:モノクロ10円/1枚、カラー50円/1枚

高産期オープンシステム登録へのお祝い

この度は、榛原総合病院産科オープンシステムにご登録いただきましてありがとうございます。地域における産科医療体制の確立と、より安全な母体管理をするために以下の点についてご協力をお願いいたします。

- 妊娠経過中に是非実施していただきたい検査について、当院では下記項目をルーチンで実施しております。
 【妊娠前期】
 ABO式血液型、RH式血液型
 梅毒抗体使用検査（定性）、梅毒血清反応TPHA試験（定性）
 血算
 ウイルス抗体価（風疹）、HIV-1、2抗体価測定
 HBs抗原抗体測定、HCV抗体価測定
 【妊娠後期】
 血算
 HTLV-1抗体価測定
 クラミジアトラコマチ
- 厚生労働省で作成した「妊娠リスク自己評価表」により、ハイリスクと判定された方については早業からの母体管理が必要となります。参考までに添付いたします。
 なお、当院でハイリスクと診断する状態は下記のとおりです。
 ア 妊娠22週から27週の早産
 イ 40歳以上の初産婦
 ウ 分娩前のBMIが35以上の初産婦
 エ 糖尿病合併妊娠
 オ 妊娠高血圧症候群
 カ 常位胎盤早期剥離
- システムを希望し分娩予約された妊婦については、緊急時の対応もいたしますので「共通診療ノート」のご活用をお願いいたします。

榛原総合病院
 産科連携室
 TEL 0548-22-7301
 FAX 0548-22-7380

妊娠リスク自己評価表（妊娠20週まで）

2005年4月に厚生労働省研究費助成として作成した「初産妊娠リスク自己評価表」です。あなたの妊娠リスクはどのくらいでしょうか？この点数表は、妊娠が分かった時から使えます。妊娠20週になった方は（妊娠20週～36週まで）も合わせて使ってください。

- あなたが妊娠するときの年齢は何歳ですか？
 15～34歳：0点、35～39歳：1点、40歳以上：5点
- これまでにお産をしたことがありますか？
 はい：0点、いいえ初めての方は：1点
- 身長は150cm以上ですか？
 はい：0点、いいえ150cm未満です：1点
- 妊娠前の体重は何kgですか？
 65kg未満：0点、65～75kg：1点、80～99kg：2点、100kg以上：5点
- タバコを1日20本以上吸いますか？
 いいえ：0点、はい：1点
- 毎日お酒を飲みますか？
 いいえ：0点、はい：1点
- 抗精神薬を使用していますか？
 いいえ：0点、はい：2点
- これまでに下記事項に当てはまればチェックしてください（各1点）
 () 高血圧があるが薬は服用していない、() 先天性腎臓病
 () 子宮がん検診での異常（クラス3以上）があるといわれた、() 肝炎、
 () 心臓病があるが、激しい運動をしなければ問題ない、
 () 甲状腺疾患があるが症状はない、() 糖尿病があるが薬は毎日も注射もしていない
 () 虫歯の抗生がない
- これまでに下記事項に当てはまればチェックしてください（各2点）
 () 妊娠糖尿病があり管理不良、() SLE、() 慢性腎臓病、() 精神神経疾患
 () 気管支喘息、() 血液疾患、() てんかん、() Rh陰性

- これまでに下記事項に当てはまればチェックしてください（各2点）
 () 高血圧で薬を服用している、() 心臓病があり、少しの運動でも苦しい
 () 胎児用でインスリンを注射している、() 抗リン脂質抗体検査といわれた、
 () HIV陽性
- これまでに下記事項に当てはまればチェックしてください（各1点）
 () 子宮筋腫、() 子宮頸部の円錐切除術後
 胎児娩出時
 () 妊娠高血圧症候群（血圧が140/90以上160/110未満）、
 () 産後出血多量（50ml以上）、() 巨大児（4kg以上）
- これまでに下記事項に当てはまればチェックしてください（各2点）
 () 巨大子宮筋腫、() 子宮手術後、() 2回以上の自然流産
 () 帝王切開、() 早産、() 死産、() 新生児死亡、() 子の大きな岩形
 () 2500g未満の児の出産
- これまでに下記事項に当てはまればチェックしてください（各5点）
 前回妊娠が
 () 妊娠高血圧症候群（血圧が160/110以上）、
 () 常位胎盤早期剥離
- 今回不妊治療を受けましたか？
 いいえ：0点、排卵誘発剤の注射：1点、体外受精：2点
- 今回の妊娠は
 予定日不明妊娠：1点、検査手術を受けた：1点、長期不妊治療後の妊娠：2点
- 今回の妊娠経過について
 28週以後の初診：1点、分娩時が初診：2点
- 赤ちゃんに染色体異常があるといわれていますか？
 いわれていない：0点、疑いがある：1点、異常が確定している：2点
- 妊娠初期検査で異常があるといわれていますか？
 B型肝炎陽性：1点、梅毒陽性（梅毒、淋病、外陰ヘルペス、クラミジア）の指摘中：2点
 1～18の点数を合計してみてください。
 妊娠リスク自己評価点 点

妊娠リスク自己評価表 (妊娠 20 週～36 週まで)

2005 年 4 月に厚生労働省研究費が対象として作成した「初期妊娠リスク自己評価表」です。あなたの妊娠リスクにどのくらいでしょうか。この点数表は、妊娠 20 週～36 週に妊婦するためのものです。赤ちゃんのリスク度も含まれています。妊娠 20 週より前の方は (妊娠 20 週まで) を使ってください。

1. 妊婦健診は定期的に行っていましたか?
受けていた: 0 点、妊婦健診は 2 回以下であった: 1 点
2. R h 血球型不適合があった方にお聞きします
抗体は上昇しなかったといわれた: 0 点、
抗体は上昇し赤ちゃんへの影響が考えられるといわれた: 5 点
3. 多胎の方にお聞きします
2 卵性双胎: 1 点、赤ちゃんの体重差が 25% 以上ある 2 卵性双胎: 2 点、
1 卵性双胎あるいは 3 胎以上の多胎: 5 点
4. 妊婦糖尿病といわれている方にお聞きします
食事療法だけでよい: 1 点、インスリン注射を必要とする: 5 点
5. 妊娠中に出血はありましたか?
なし: 0 点、20 週未満にあった: 1 点、20 週以後にあった: 2 点
6. 羊水あるいは胎動早産で入院しましたか?
なし: 0 点、34 週以後にあった: 1 点、33 週以前にあった: 2 点
7. 妊婦高血圧症候群 (妊婦中毒症) といわれましたか?
なし: 0 点、経経 (血圧が 140/90 以上 160/110 未満): 1 点、
重症 (血圧が 160/110 以上): 5 点
8. 羊水量に異常があるといわれましたか?
なし: 0 点、羊水過少: 2 点、羊水過多: 5 点
9. 胎盤の位置に異常があるといわれましたか?
なし: 0 点、低位胎盤: 1 点、前置胎盤: 2 点、前回剖切で前置胎盤: 5 点
10. 赤ちゃんの大きさに異常があるといわれましたか?
なし: 0 点、異常に大きい: 1 点、異常に小さい: 2 点
11. 赤ちゃんの位置に異常があるといわれましたか (妊娠 36 週以降)?
なし: 0 点、初産で下がってこない: 1 点、逆子あるいは横位: 2 点

1~11 の点数を合計してみてください。

妊娠リスク自己評価点 点

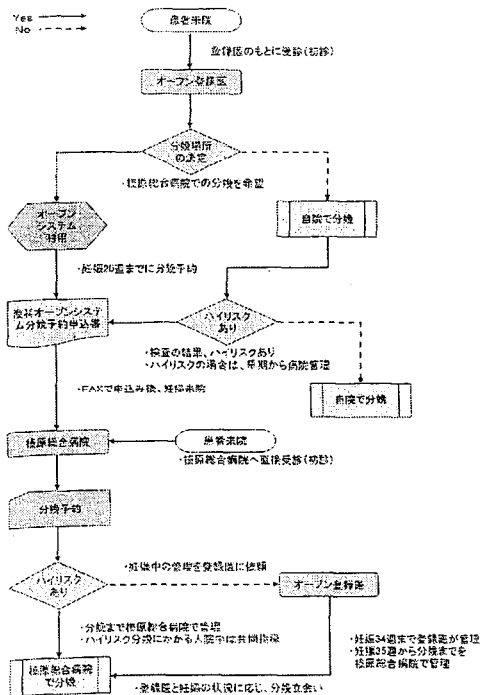
10

妊娠リスク自己評価点の基準表 (共通)

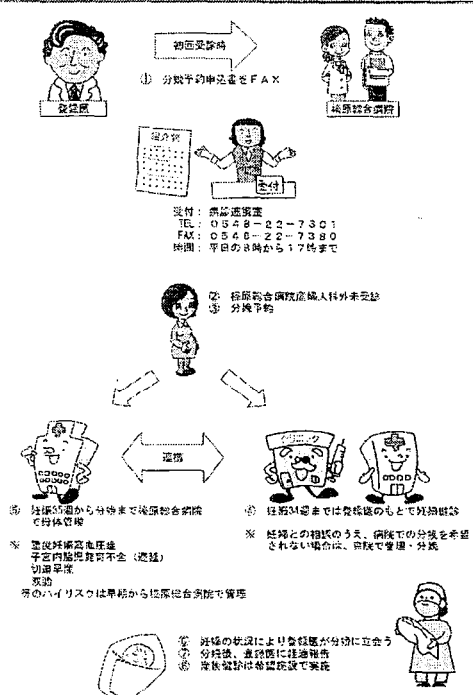
- 0~1 点→低リスク
現在のところ大きな問題はなく心配はいりません
- 2~3 点→中リスク
ハイリスク妊娠に対処可能な病院と密接に連携している産科での妊婦
健診、分娩を考慮してください
- 4 点以上→高リスク
ハイリスク妊娠に対処可能な産科での妊婦健診、分娩を考慮してください

11

榛原総合病院 産科オープンシステム



榛原総合病院 産科オープンシステム 分娩までの流れ



システムの流れ

- ① 診療所(病院)の医師に榛原総合病院での分娩を希望する
 - ② 診療所(病院)の医師から榛原総合病院に分娩申込書をFAX
 - ③ 榛原総合病院を受診して、分娩予約をする
 - ④ 妊娠34週までの健診は、診療所(病院)の医師のもとで受ける
 - ⑤ 妊娠35週になったら、分娩までを榛原総合病院が管理する
 - ⑥ 分娩後は、希望する施設(診療所(病院)・榛原総合病院)で健診を受ける
- ※ システムを利用している方は、緊急の事態にも榛原総合病院が対応します。

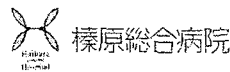
地域で
安全・安心なお産を
産科オープンシステム

榛原総合病院のオープンシステム

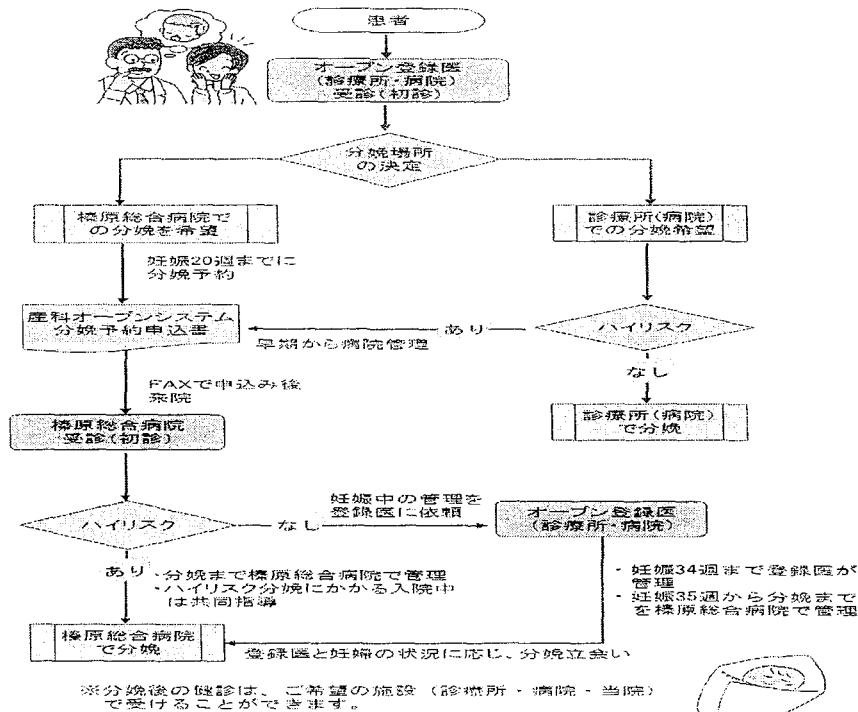
近年、全国的に産科医師数の減少により、分娩可能な病院・診療所が少なくなっています。
「診療所の業務の負担を軽くして、地域の産科医療を充実させたい」という思いが、このシステムのほじまりです。
オープンシステムの特徴は、「盲設の妊婦健診は近くの診療所(病院)で、お産はいざというときの設備・体制が整った病院で」というスタイルです。

診療所と病院にはそれぞれの役割があります。
診療所：ちょっとしたことでも医師しやまい、詳しく説明してくれる、家から近くて通院に便利。
病院：設備やスタッフが揃っており、緊急事態にも対応できる、特殊な検査、処置、治療ができる。

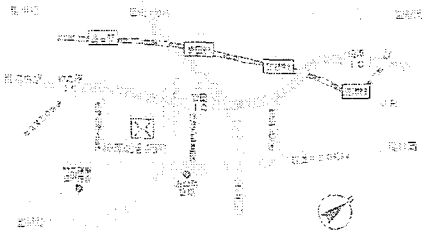
榛原総合病院では、診療所(病院)の医師と連携して妊婦さんの診察を行いますので、妊婦からお産まで安全で安心な医療をご提供できます。
このシステムのご利用を希望される場合は、診療所(病院)の医師にひと言に相談いただくだけで結構です。



榛原総合病院 産科オープンシステム



病院周辺マップ



産科施設名

分娩施設名 標原総合病院

〒421-0493 静岡県牧之原市細江2887番地1
TEL0548-22-1131 FAX0548-22-6363
URL <http://www.hospital.haibara.shizuoka.jp/>

◎◎◎◎◎◎◎◎

標原総合病院の
産科オープンシステム

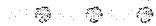
産科オープンシステムとは、妊婦健診とお産をそれぞれ別の施設で行うものです。

“34週までの妊婦健診は、お近くの診療所や病院で、35週からお産までは当院で”というシステムで、産科の医師が少ない施設でのお産の負担を軽くして、医療体制の整った標原総合病院で、安全・安心なお産をしていただきたい・・・このような思いから生まれた診療スタイルです。

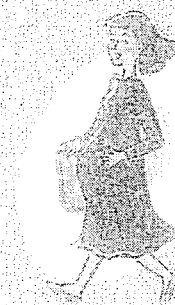
普段は、お近くの診療所や病院での健診が便利です。不安な点をご相談しやすいと思います。

しかし、お産が近づいてくると、思いもかけないことも起こります。それが深夜だったり、診療所(病院)の医師がお留守のことがあるかもしれません。そのような緊急事態には、当院が対応します。

このシステムを利用いただくことにより、各々のメリットを十分に活用していただくことができます。



産科オープンシステム
共通診療ノート



氏名 _____ 歳 _____

予定日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 (LMP, CRL, BBT)

既往歴 _____

妊娠歴 _____

検査結果 血液型()型 Rh()

HBs抗原	/	GBS	/
HCV抗体	/	頸部細胞診	class /
梅毒	/	Hb	g/dl /
HIV抗体	/	PLT	$\times 10^3/\mu\text{l}$ /
風疹抗体価	価 /	血糖値	/
ATL-A	/	トキソプラズマ	/
クラミジア抗体	/		

ハイリスク要因(有・無)

分娩立会い(有・無) _____

確認者 _____

確認者 _____

(この部分へへい部を貼る場所をここに記入)

妊娠9週～10週の
CRL測定の写真を
貼布してください。

診療ノート

年	月	日		
週				日
BPD				
FTA				
FL				
EFBW				
処置・処方・連絡 等				
.....				
.....				
.....				
.....				
Sign				

診療ノート

年	月	日		
週				日
BPD				
FTA				
FL				
EFBW				
処置・処方・連絡 等				
.....				
.....				
.....				
.....				
Sign				

診療ノート

年	月	日		
週				日
BPD				
FTA				
FL				
EFBW				
処置・処方・連絡 等				
.....				
.....				
.....				
.....				
Sign				

MEMO



外来のご案内

- 外来診療日
月曜日～金曜日（土・日・祝祭日と年末年始は休診）
- 受付時間
新患 8:00～11:00 / 再来 7:30～11:00

予約受付	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊婦健診は予約制です。 ● 予約または予約変更、その他お問合せ 平日 14:00～16:00 にお電話ください。 産婦人科外来 0548-22-1131 (代)
緊急連絡	<ul style="list-style-type: none"> ● 平日 (8:30～16:00) 産婦人科外来 0548-22-1131 (代) ● 休日・時間外 救急外来 0548-22-1131 (代) ※来院時は救急・時間外入口からお入りください。

皆様に快適でかつ安全な出産を迎えていただくため、このノートにより健診施設間で情報交換を行います。健診や緊急時の受診の際は、母子手帳と共に忘れずにお持ちください。

住 所
氏 名
連絡先

